

な～に谷っ戸ん田 3年目の14回目(お盆時期につき、有志参加)

スズメよけの糸張り/麦の選別(続き)/ハウス内除草/苗箱片付け/キュウリ下葉切除/野菜苗のポット移植/種まき(ハウス/セルトレー)/ウド畑下畑草刈/暗渠排水/

とき 平成21年8月15日(土) 9:30～18:00(流れ解散)

ところ 谷っ戸ん田/谷っ戸ん田上のハウス/イチゴハウス下の倉庫前/作業小屋前のビニールハウス/作業小屋前/ウド畑下の畑

天気 快晴 日中は暑い、日陰はやや過ごしやすい。

参加者 石田、磯、加藤、霧生(午前)、久保、坂本、佐々木夫妻&ゆうくん、高田妻、高見、吉田(午前)、てつさん  
12名+子1名=計13名 記録:高見

午前 9:30スタート

谷っ戸ん田 全員

スズメ避け糸張り・・・水田外周の長手方向に支柱(ビニール被覆の主柱を2本の支柱で支えひもで結束。3本/箇所使用)を8箇所ずつ、残りの辺上に2箇所ずつ支柱を立て、支柱間に糸を張る(上空から稲穂を守る)。水田外周には支柱中段付近を通るように透明のテグス糸を張る(外周からの侵入を防ぐ)。

谷っ戸ん田上のハウス 佐々木夫妻、高田、霧生、磯

ミョウガ畑の除草・・・草に覆われていたミョウガが見えるように除草。

イチゴハウス下の倉庫前 全員

麦の選別の続き・・・瀬谷のパン用麦をハイトーミ(電動の唐箕、カンリウ製)にかけて選別。約40kg×3袋。

昼

ハンモック・カフェはお盆休業。 昼休みに谷っ戸ん田の看板作りの続き。

午後

イチゴハウス下の倉庫前 石田、加藤、久保、坂本、佐々木夫

麦の選別の続き・・・パン用麦の選別。約40kg×3袋。前週実施分(うどん用麦)を再度ハイトーミで選別。約40kg×6袋。

作業小屋前のビニールハウス 佐々木夫妻、高田

下葉切除・・・キュウリの下葉4～5枚をはさみで切除。風通し確保。

作業小屋前 磯、高見

苗箱片付け・・・洗浄後の苗箱を同種毎に10枚ずつひもで結わえる。

作業小屋前のビニールハウス脇 磯、高見、(ゆうくん)、高田妻、加藤、坂本

稚苗のビニールポットへの移植・・・ブロッコリー及びカリフラワーの稚苗(1トレイは128稚苗で構成。2×2×5cmの土付き苗が8×16株に納まる。ブロッコリー及びカリフラワーとも2トレイずつなので、それぞれ128苗×2=計256苗)をていねいに株から抜き取り、野菜専用園芸培養土を入れたビニールポットに移植。使用培養土量約80リットル。

作業小屋前のビニールハウス脇 高田妻

ブロッコリー、ハクサイの種まき・・・セルトレー(8×10)にブロッコリー5枚 1か所2粒、ハクサイ3枚 1か所3粒 種をまく。種まき用専用培養土 40L 1袋と少し。

作業小屋前のビニールハウス 佐々木夫妻

モロコインゲンの種まき・・・予めてつさんが耕し、穴あき黒マルチをはっておいた場所に1か所2～3粒種をまく。

ウド畑下畑 石田、久保、高見

草刈り・・・雑草に覆われていた畑を刈払機で刈り払い、刈草はそのまま残置。

暗渠排水工・・・広場付近に仮置きしていた孟宗竹(長さ2m程度、約50本)を軽トラで運搬し、予めてつさんが畑内に掘削した溝の底部に敷設。その後、ミニバックホウで覆土し転圧・整地。

18:00全作業終了。最後の作業としてポット移植苗ほかに散水(久保)。

午後の休憩時に、てつさんからアイスの差し入れがありました。作業小屋の日陰で、一時暑さを忘れました。

次回 8/22(土)予定